

看護補助者って どんな仕事？

看護補助者は看護チームの一員として、看護師の指示の下で看護の補助業務（専門的判断は必要ありません）を行う職種です。患者さんやそのご家族と接する機会も多く、未経験・無資格でも医療の現場で働くことができ、人の役に立てるやりがいのあるお仕事です。看護補助者は、医療機関によって「看護助手」や「看護アシスタント」「ナースエイド」など様々な名称で呼ばれています。



未経験・ 無資格の方でも 安心して働けるサポート

ナースセンターでは、未経験の方や就業に不安がある方も安心して就業に向けた準備ができるよう、施設見学会や仕事体験会、就業に向けた研修を提供しています。



仕事内容

※所属する施設や部署により、業務内容は異なる場合があります。

- 01 生活環境に関わる業務
- 02 診療に関わる周辺業務
- 03 日常生活に関わる業務

ベッド周辺の清掃・整頓、シーツ交換など
処置・検査等の伝票類の準備、診察に必要な器材・器具の準備・片付け
食事に関する業務、身体の清潔に関する業務、車いすなどでの搬送

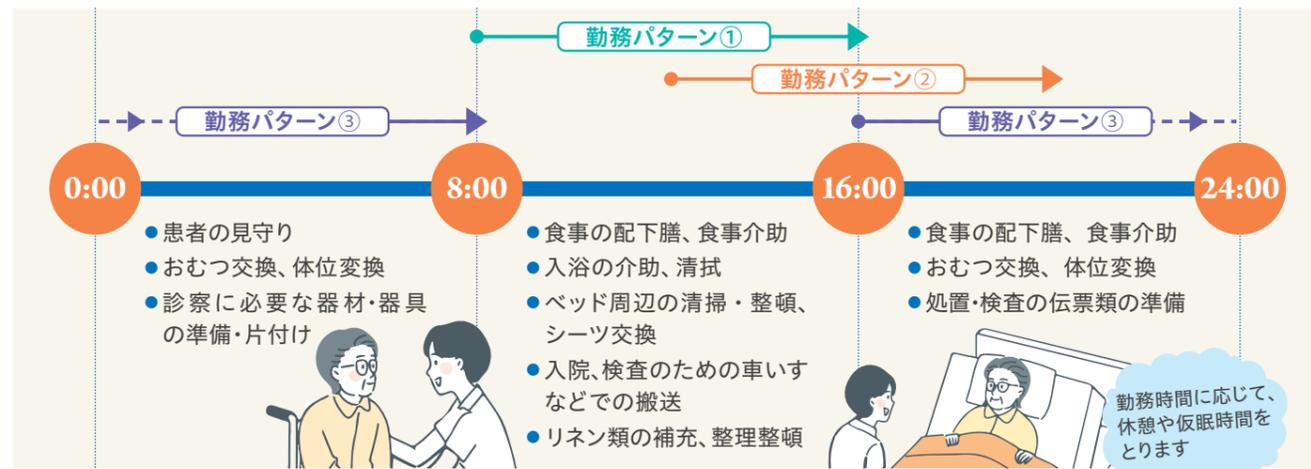


働く時間帯の例

看護補助者の 1日のスケジュールを 見てみましょう

勤務形態や勤務時間は施設により異なります。自身の生活に合わせてご希望の時間の働き方をナースセンターにご相談ください。例えば、朝から夕方までや夜間の勤務など様々な時間帯に働くことができます。

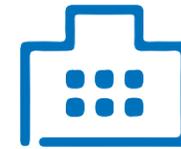
※夜間（22時～翌5時）に働いた場合、通常より25%割増した賃金を支払われることが、労働基準法で定められています。



看護補助者の仕事を知るきっかけとなるよう、ハローワーク等と連携して施設見学会や仕事体験会を開催しています。

施設見学会

看護補助者の仕事内容や働く環境を知ることができます。



仕事体験会

車いすの操作、ベッドメイキング、環境整備など看護補助者の仕事の一部を実際に試すことができます。



看護補助者の役割や業務内容を理解したうえで働けるよう、就業に向けた研修を提供しています。

研修名 ナースセンターによる 看護補助者の 就業に向けた研修

研修内容

- 01 医療チームの機能と役割 (約30分)
 - 医療チームにおける看護の役割
 - 看護補助者の役割と責任
 - 情報共有の必要性
- 02 看護補助者の業務 (約30分)
 - 看護補助者の業務範囲と業務内容
 - 病棟の1日の流れと勤務体制・業務の特徴
 - 夜勤帯の特徴と留意点
- 03 看護補助者としての心得 (約30分)
 - 接遇
 - 自己の健康管理

研修時間

- 約30分の研修を3つ用意しています。
- 全ての研修を受講した方には、修了証を発行します。

受講方法

- パソコンやスマートフォンを利用し、都合のよい時間に、ご自宅などお好きな場所で受講できます。
- パソコンをお持ちでない方や、受講方法に不安がある方は、ナースセンターにご相談ください。

お申し込み方法

都道府県ナースセンターに、お申し込みください。

